

佳作

わたしががんばったこと

茨城県 日立市立坂本小学校二年 弓達 令奈

「出たいです。」

先生にコンクールに出てみますかと聞かれて、わたしはすぐに答えました。

ピアノのコンクールに出るのは、今が二回目です。一回目は、ようち園の時でした。その時は、はじめてだったので、よくわからないうちにおわってしまいました。でも今年、目ひょうをきめて、がんばろうと思いました。

それは、一回目のコンクールの本せんの時にもらえなかった「たて」をもらうことです。

七月のよせんの日までは、三か月間ありました。わたしは毎日学校がおわってから、すこしずつれんしゅうをはじめました。さいしょは、フォルテで音をまちがわないでひくことからはじめました。それから音の長さやつよさ、よわさを考えてひくれんしゅうをしました。りょう手でスタックカートをはやくひきつづけるところが、むずかしかったです。

よせんの日、おじいちゃん、おばあちゃんもおうえんにきてくれました。うれしかったです。ごうかくすることができました。つぎは本せんです。よせんがおわって二週間ちょっとしかありません。わたしは、夏休みだったけど、ごうかくするために、あそぶ時間やすきなスイミングの時間をへらして、毎日ピアノをたくさんひきました。

そして、いよいよ本ばん。ちょっとドキドキしたけど、わたしは先生が言った、「楽しんでひいてきてね。」

のことばを思い出して、え顔でいっしょう

けんめいひきました。うまくひくことが出きました。そして、けっかはっぴょうの時、

「ゆうしゅうしよう、二十五ばん。」

わたしのばんごうがよばれました。

「やったー。」

わたしは、「たて」と「しょうじょう」をもらいました。れんしゅうはたいへんだったけど、またつぎも出てみたいと思いました。